

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 5 月 9 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2020～2023

課題番号：20H01521

研究課題名(和文) 帝国日本をめぐる鉄道経営の国際移転：経営管理と人的資源を中心に

研究課題名(英文) International transfer of railway managements in the Imperial Japan:Focusing on the business administration and the human resource management

研究代表者

中村 尚史(Nakamura, Naofumi)

東京大学・社会科学研究所・教授

研究者番号：60262086

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、日本国内と植民地・勢力圏の鉄道を包摂する日本帝国圏鉄道という概念を提起し、その経営発展の過程を人的資源、鉄道運営、国際関係の三つの視点から考察することを目的としている。具体的には、日本国鉄と台湾鉄道、朝鮮鉄道、南満洲鉄道を事例として、その相互間の人的交流や技術移転の分析、鉄道運営の比較検討などを軸に研究を進めた。その結果、日本帝国圏鉄道の発展プロセスの特徴は、日本内地における欧米から日本への鉄道システムの移転・自立と、内地から植民地・勢力圏への鉄道システムの再移転が、段階的ではなく、折り重なりつつ進行した点にあることが明確になった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

日本帝国圏における鉄道発展の研究は、従来、日本国内と植民地・勢力圏に分断した形で進められてきた。また研究視角が所在国・地域の枠内にとどまっており、国際関係や世界市場のようなグローバルな視点が弱かった。これに対して本研究は、日本帝国圏という一国を超えた領域での鉄道システムの形成過程と内部構造を、域外との関係や国際比較にも注目しながら分析した。その結果、日本帝国圏の各鉄道は、互いに有機的な結びつきを有しつつも、それぞれの地域特性にあわせて、独自の経営システムを構築していったことが明らかになった。それは、東アジア鉄道業の歴史的淵源を探る上で重要な視点といえる。

研究成果の概要(英文)：This research explored the notion of "Railways within the Japanese Imperial Sphere of Influence": the railway systems in Japan and its colonies and spheres of influence. Specifically, the study investigated the development of the Japanese Government Railways, Taiwan Railways, Korean Railways, and South Manchuria Railway from three perspectives: human resources, railway operations, and international relations. The research examined the exchange of human resources and technology among these four railways in the Japanese Empire and compared their respective operations as railway systems. It revealed that the development process of these railways first involved the transfer of railway technology and operating knowledge from the West to Japan and a gradual shift to independent operation. This was followed by a re-transfer of the railway system from mainland Japan to its colonies and spheres of influence. Notably, this process did not follow clearly defined stages but was a layered one.

研究分野：経済史・経営史

キーワード：日本帝国圏鉄道 日本国鉄 台湾鉄道 朝鮮鉄道 南満洲鉄道 人的資源 鉄道運営 国際関係

## 1. 研究開始当初の背景

鉄道経営は営業、運輸、労務、財務などさまざまな業務を統合する複雑な組織体であり、一国の輸送ネットワークの根幹である。戦前日本は19世紀後半に欧米から鉄道経営システムを移転したのち、19-20世紀転換期に技術的、経営的に自立し、以後、断続的に最新知識・技術の導入を続けつつ、独自のシステムを構築していった。それと並行して日本は、帝国的経済圏の拡大にともない、台湾、朝鮮、南樺太、「満洲」へと鉄道経営システムを再移転し、東アジアの経済統合を進めた。こうした日本帝国圏での鉄道発展の過程について、従来の研究は、日本国内と植民地・勢力圏に分断した形で進められてきた。また両者とも、研究視角は日本、台湾、朝鮮、「満洲」といった所在国・地域の枠内にとどまっており、国際関係や世界市場のようなグローバルな視点が弱かった。さらに国際比較の視点も希薄であり、日本帝国圏鉄道の国際的な位置づけが不明瞭であった。

## 2. 研究の目的

これらの問題点を克服すべく、本研究はまず、日本国内と植民地・勢力圏の鉄道を包摂する帝国圏鉄道という概念を提起した。そのことによって、両者の分断という問題が解消するのみならず、一国史もしくは一地域史の枠を超えた考察が可能になった。その上で本研究は、国際関係と国際比較という二つの方法を並行して採用することにより、日本帝国圏鉄道をグローバルな文脈のなかに立体的に位置づけることを目指した。それは一国史の枠にとらわれがちな日本の鉄道史研究をグローバルに展開する、第一歩となることが期待できる。

## 3. 研究の方法

以上の問題意識に基づき、本研究は帝国日本をめぐる鉄道経営の国際移転を、人的資源と運営管理の側面に注目しながら検討した。具体的には、日本帝国圏鉄道が本格的な発展を遂げた明治後期から両大戦間期を主な対象時期とし、鉄道運営や人的資源の形成をめぐる日本内地と植民地・勢力圏の関係、植民地・勢力圏相互間の関係の双方に注目した事例研究を行った。さらに本研究は、日本と韓国、台湾の国際共同研究という性格も有している。そのため、2022年度には7月にパリで開催された第19回世界経済史会議で”Transforming Knowledge and Human Resources into Wealth and Power: Comparative Perspectives on Engineers, Merchants and Labour in East Asia, 1850–1945”というセッションを組織し、11月には台北大学で「東亜近現代史中的変遷・対抗・融和」というタイトルの国際シンポジウムを実施して、国際比較の議論を深めた。

## 4. 研究成果

本研究の成果は、最終的に『日本帝国圏鉄道の形成』というタイトルの共著として刊行したい。その第一次原稿は、すでに各研究分担者・協力者から提出されており、今後、執筆者相互の間での意見交換を行った上で、本書の編集作業に取りかかる予定である。

『日本帝国圏鉄道の形成』は、3部6章から構成される。その具体的な内容は、以下のとおりである。序章では、まず「日本帝国圏鉄道」の概念を議論し、先行研究を整理した上で、本書の議論の前提として日本帝国圏鉄道の東アジアの中に占める位置と役割について、営業距離、従業員数、鉄道用品市場という三つの視点から論じた。

「第 部 人的資源」では、日本帝国圏鉄道を支えた技術者・経営者・労働者といった人々の構成と、その編成原理の特徴について考察した。「第1章 日本帝国圏鉄道の形成と人的資源: 1895-1914」(中村尚史)は、戦前日本における鉄道経営者・技術者団体である帝国鉄道協会(1899年設立)の会員名簿をデータベース化し、これを帝国圏各鉄道の職員名簿などと照らし合わせることで、日本帝国圏内における会員の移動を分析した。その際、とくに台湾領有、朝鮮半島の勢力圏化によって、台湾総督府鉄道部、京仁鉄道、京釜鉄道などが発足した日清戦後期と、南満洲鉄道、樺太庁鉄道部、朝鮮総督府鉄道局などが発足した日露戦後期に注目し、日本の鉄道帝国の形成過程における人的資源の供給源を明らかにした。

「第2章 日本帝国圏鉄道における人的資源管理の比較分析」(林采成)は、日本帝国圏鉄道において人的運営管理のために展開された賃金制度、採用、昇格、教育、労使関係などと人事制度を比較分析し、日本内地と外地との相違性、植民地雇用構造、経済不平等などを明らかにした。鉄道の拡大は、当然、労働力の拡充を必要とする。日本帝国圏鉄道の場合、戦前期を通して徐々に現地民の採用が増えたものの、労働力の現地比率は全体の30-40%に過ぎなかった。これは現地民の採用が圧倒的に多かった欧米植民地鉄道から見れば、極めて低い数字である。日本の植民地政策は英仏の自治主義や統合主義と異なり、日本人の移住を前提とする定住型統合主義であった。その特徴が身分別・部署別配置において現れ、日本人を中心とし、賃金や昇進で日本人を優遇する人的資源管理が行われたのである。こうした植民地雇用構造に着目しつつ、本章では賃金、採用・昇格、教育、生産性に関する数量分析を行った。そのことによって、エスニックによる経済不平等という論点を提示するとともに、それぞれの鉄道運営管理において見られる日本帝國的な鉄道運営システムの特徴を解明した。

次に「第 部 鉄道運営」は、日本帝国圏鉄道の運営の実態について、保線業務を通してみた作業現場の帝国圏内比較と、台湾総督府鉄道におけるトップマネジメントの動向という二つの事例から検討した。「第3章 日本帝国圏鉄道における保線業務の革新と労働組織」(沢井実)は、従来の研究が等閑視してきた戦間期の日本国鉄における鉄道保守業務の革新過程を考察し、保線区における作業現場の実態を明らかにする、日本国鉄の経験との比較を意識しながら、朝鮮総督府鉄道局および南満洲鉄道における保線管理組織、保線現業組織、保線業務と保線労働組織の変遷を考察するという二つの課題に取り組んだ。線路維持という共通の課題を担いながらも、保線のための組織と労働のあり方は、帝国圏内それぞれの現場における事情に大きく規定されていた。そのため保線業務の作業組織の比較検討は、日本帝国圏鉄道の特質の析出につながるといえよう。

「第4章 鉄道部長新元鹿之助と日本統治時代の台湾鉄道」(蔡龍保)は、台湾総督府鉄道部に長年勤務し、一介の技師から鉄道部長にまで上り詰めた新元鹿之助の伝記的な研究を通して、日本統治時代における台湾鉄道のトップマネジメントのあり方を検討した。その結果、新元のような技術官僚が台湾で自らの鉄道構想を実現するためには、財政的な制

約をはじめとする植民地統治上の大きな障害があり、設備投資が不十分で脆弱な鉄道にならざるを得なかったことが明らかになった。さらに本章は、台湾鉄道の財政問題を日本国鉄、朝鮮鉄道と比較しつつ検討し、植民地鉄道としての台湾総督府鉄道の特質を探っている。

「第 部 国際関係」では、日本帝国圏鉄道と他の帝国・地域との関係について考察した。「第 5 章 1920-30 年代の満鉄とドイツ：日本帝国圏鉄道の対欧州関係を考察するために」(鳩澤歩)は、日本帝国圏内で国際性の面で突出した存在であった南満洲鉄道の国際関係を、欧州諸国、とくにドイツとの関係を中心に考察した。具体的には、満鉄とドイツの関係について、ドイツにおける経済、政治体制についての調査と情報収集、国際会議への参加とドイツ側の満鉄評価という 2 つの論点を軸に検討し、満鉄が日本帝国圏鉄道の一部であるがゆえに有していた限界性を明らかにした。

第 5 章が日本帝国圏鉄道と欧州との関係を検討したのに対して、「第 6 章 東アジア機関車市場の展開とアメリカ・メーカー：1887-1938」(中村尚史)は、アメリカとの関係に注目した。具体的には、アメリカ製蒸気機関車の対東アジア輸出の動向を通して、日本帝国圏鉄道の東アジア鉄道市場のなかにおける位置と役割の変遷を明らかにし、あわせてアメリカ製造業の海外進出の実態について考えた。

そして最後に、終章で本書各章の考察を経て明らかになった論点を整理し、そのインプリケーションについて論じる予定である。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計26件（うち査読付論文 4件 / うち国際共著 2件 / うちオープンアクセス 14件）

1. 著者名 林采成	4. 巻 40
2. 論文標題 王子製紙と多獅島鉄道	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 鉄道史学	6. 最初と最後の頁 3-19
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Chaisung Lim	4. 巻 Springer
2. 論文標題 "Transportation and Communications," Studies in Economic History	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Myung Soo Cha & Nak Nyeon Kim & Ki-Joo Park & Yitaek Park (ed.), Historical Statistics of Korea	6. 最初と最後の頁 595-687
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 23
2. 論文標題 帝國圏鉄道における日本人技術者の配置と技能者養成 朝鮮総督府鉄道局を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 133-162
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 24
2. 論文標題 ソ連鉄道工場への鉄道省技術者の派遣 1930・31年	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 103-116
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 蔡龍保	4. 巻 筑摩書房
2. 論文標題 台湾で再現した「明治」 児玉後藤時代の鉄道技術者集団形成	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 瀧井一博編『明治史講義 グローバル研究編』	6. 最初と最後の頁 33-49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔡龍保	4. 巻 中央研究院台湾研究所
2. 論文標題 臺灣文化協會人士對鐵道事業的思考與評議：以《臺灣民報》為中心	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 許雪姬編『世界・僑蒙・在地：臺灣文化協會一百週年記念論文集』	6. 最初と最後の頁 315-361
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 蔡龍保	4. 巻 京都大学学術出版会
2. 論文標題 高度成長期台湾と鉄道	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 林采成、武田晴人編『企業類型と産業育成 東アジアの高成長史』	6. 最初と最後の頁 317-355
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 21
2. 論文標題 吉敦鉄道の建設過程	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 87-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 36-1
2. 論文標題 岸本熊太郎のアメリカ留学：鉄道運輸専門家の誕生	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 南山経営研究	6. 最初と最後の頁 89-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naofumi Nakamura	4. 巻 vol.2, Kent: Renaissance Books
2. 論文標題 The Training School for Railway Engineers: An early example of an inter-firm vocational school in Japan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Erich Pauer and Regine Mathias eds. Accessing Technical Education in Modern Japan	6. 最初と最後の頁 217-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林采成	4. 巻 日本経済評論社
2. 論文標題 日本占領下における山東鉄道の沿線観光	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 千住一・老川慶喜編著 『帝国日本の観光：政策・鉄道・外地』	6. 最初と最後の頁 215-235
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村尚史	4. 巻 ミネルヴァ書房
2. 論文標題 グローバル化と明治の鉄道発展：鉄道国有化の国際的契機	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 瀧井一博編 『「明治」という遺産』ミネルヴァ書房	6. 最初と最後の頁 509-525
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 20
2. 論文標題 終戦直後の機械工業再建構想 商工省・精密機械統制会を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 13-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15119/00003	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 沢井実	4. 巻 21
2. 論文標題 吉敦鉄道の建設過程	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 87-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 林采成	4. 巻 74-3
2. 論文標題 植民地期台湾国鉄の戦時動員と輸送力増強	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『立教経済学研究』	6. 最初と最後の頁 49-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 蔡龍保	4. 巻 59
2. 論文標題 日治以迄美援時期台湾鐵路技術人才探源(1895-1965)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 『成大歴史学報』	6. 最初と最後の頁 123-166
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Nakabayashi N., Fukao K., Takashima M., and Nakamura N	4. 巻 23-2
2. 論文標題 Property System and Economic Growth in Japan, 730-1874	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Social Science Japan Journal	6. 最初と最後の頁 147-184
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ssjj/jyaa023	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村尚史・高島正憲・中林真幸	4. 巻 72-2
2. 論文標題 実証的経済史研究の現在	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 社会科学研究	6. 最初と最後の頁 27-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakamura Naofumi	4. 巻 First View
2. 論文標題 Trading locomotives between the USA and Japan: Okura & Co. at the beginning of the twentieth century	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of the Royal Asiatic Society	6. 最初と最後の頁 1~16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1356186323000548	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Lim Chaisung	4. 巻 First View
2. 論文標題 Divergent tracks: Korean Government Railways' employment and training systems under Japanese colonial rule, 1910?45	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of the Royal Asiatic Society	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1356186323000597	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chen Hailian, Nakamura Naofumi	4. 巻 First View
2. 論文標題 Guest editors' foreword: Mobilising global knowledge: institutionalising expertise in East Asia's industrial transition	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 Journal of the Royal Asiatic Society	6. 最初と最後の頁 1~5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/S1356186324000099	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Naofumi Nakamura	4. 巻 40
2. 論文標題 The First Global Economy and the US-Japan Locomotive Trade: A Case Study on Baldwin Locomotive Works and Frazar & Co.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Research in Business History	6. 最初と最後の頁 6-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Naofumi Nakamura and Alexandre Roy	4. 巻 40
2. 論文標題 Introduction: The Diversity of "Emerging Markets": New Perspectives from Japan and the Asian-Pacific Region in the Pre-World War	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Japanese Research in Business History	6. 最初と最後の頁 1-5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 沢井実	4. 巻 25
2. 論文標題 1910~1930年代における大連機械製作所の経営展開	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 南山大学『アカデミア』社会科学編	6. 最初と最後の頁 247-263
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ばん澤歩	4. 巻 思文閣出版
2. 論文標題 ナチ経済史研究の現状 欧米における研究から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本経済史研究所編『歴史からみた経済と社会』	6. 最初と最後の頁 927-961
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林采成	4. 巻 76-3
2. 論文標題 植民地台湾における私設鉄道の経営と補助：台北軽鉄炭鉱から台北鉄道へ	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 立教経済学研究	6. 最初と最後の頁 125-154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

[学会発表] 計15件(うち招待講演 1件/うち国際学会 9件)

1. 発表者名 Nakamura Naofumi
2. 発表標題 Trading locomotives between the US and Japan; focusing on the Japanese trading companies around the turn of the 19-20th centuries
3. 学会等名 The 19th World Economic History Congress, Session PA.031 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 中村尚史
2. 発表標題 東アジア機関車市場の展開とアメリカ・メーカー:1887-1914
3. 学会等名 「東亜近現代史中的変遷・対抗・融和」国際學術研討會, 臺北大學歴史學系・霞山會(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 林采成
2. 発表標題 台北鉄道の経営実態と政府補助
3. 学会等名 「東亜近現代史中的変遷・対抗・融和」国際學術研討會，臺北大學歷史學系・霞山會（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 ばん澤歩
2. 発表標題 戦前・戦中期在独（ベルリン）日本人鉄道職員：「ドイツ経験」は何をもたらしたか
3. 学会等名 「東亜近現代史中的変遷・対抗・融和」国際學術研討會，臺北大學歷史學系・霞山會（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 蔡龍保
2. 発表標題 由森林鐵路到觀光鐵路-戦前阿里山鐵路經營策略之轉變(1896-1945)
3. 学会等名 「東亜近現代史中的変遷・対抗・融和」国際學術研討會，臺北大學歷史學系・霞山會（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Naofumi Nakamura
2. 発表標題 The First Globalization and the US-East Asian Locomotive Trade: Focusing on Baldwin Locomotive Work and Frazar & Co. in Japan
3. 学会等名 The 2nd World Congress of Business History, Session G03（国際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naofumi Nakamura
2. 発表標題 Diversification and Convergence: Development of railway technology in Japan
3. 学会等名 Harvard Yenching Institute, Visiting scholar seminar (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 林采成
2. 発表標題 王子製紙と多獅島鉄道：鉄道敷設と運営
3. 学会等名 鉄道史学会2021年度第1回例会報告
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 林采成
2. 発表標題 国鉄の戦時動員と計画輸送
3. 学会等名 鉄道史学会全国大会共通論題報告
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Naofumi Nakamura
2. 発表標題 Reconsidering the US-Japan Trade in Railroad Equipment: An American Sales Representative in Early 20th-Century Japan
3. 学会等名 Association for Asian Study Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 中村尚史
2. 発表標題 日本帝国圏鉄道の形成と人的資源
3. 学会等名 社会経済史学会全国大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 林采成
2. 発表標題 日本帝国圏鉄道における人的管理の比較分析
3. 学会等名 社会経済史学会全国大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 沢井実
2. 発表標題 日本帝国圏鉄道における技術者と労働者：朝鮮総督府鉄道を中心に
3. 学会等名 社会経済史学会全国大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 ばん澤歩
2. 発表標題 戦前・戦中期日本鉄道職員の「ドイツ認識」と「ドイツ経験」
3. 学会等名 社会経済史学会全国大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Chaisung Lim
2. 発表標題 Formation and Management of Human Resources on the Colonial Korean National Railway
3. 学会等名 The 19th World Economic History Congress, Session PA.031 (国際学会)
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計6件

1. 著者名 ばん澤 歩	4. 発行年 2021年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 304
3. 書名 ナチスと鉄道	

1. 著者名 Naofumi Nakamura	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Paris: Les Belles Lettres	5. 総ページ数 409
3. 書名 La Revolution industrielle des regions du Japon	

1. 著者名 林 采成	4. 発行年 2021年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 630
3. 書名 東アジアのなかの満鉄	

1. 著者名 ばん澤 歩	4. 発行年 2021年
2. 出版社 N T T出版	5. 総ページ数 240
3. 書名 ふたつのドイツ国鉄	

1. 著者名 蔡龍保編著	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ゆまに書房	5. 総ページ数 861
3. 書名 コレクション・台湾のモダニズム 第3巻 台湾縦貫鉄道と交通網	

1. 著者名 沢井 実	4. 発行年 2023年
2. 出版社 名古屋大学出版会	5. 総ページ数 340
3. 書名 日本帝国圏鉄道史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	林 采成  (Lim Chaisung)  (40760228)	立教大学・経済学部・教授   (32686)	
研究分担者	澤井 実  (Sawai Minoru)  (90162536)	南山大学・経営学部・研究員   (33917)	



6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	ばん澤 歩  (Banzawa Ayumu)  (90238238)	大阪大学・大学院経済学研究科・教授    (14401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	蔡 龍保  (Tsai Lung-Pao)	国立台北大学・歴史学系・教授	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計2件

国際研究集会 「東亜近現代史中的の変遷・対抗・融和」国際學術研討會	開催年 2022年～2022年
国際研究集会 The 19th World Economic History Congress, Session PA.031	開催年 2022年～2022年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
その他の国・地域 (台湾)	国立台北大学		